

資料に親しむ会 令和7年度第3回

「深掘り“琵琶湖疏水”」

京都府立京都学・歴彩館職員が「深掘り“琵琶湖疏水”」を、下記のとおり開催しました。

記

■ 日 時 令和7年10月15日（水）午後2時30分～3時30分

■ 場 所 京都府立京都学・歴彩館1階 小ホール

■ 参加者数 109名

■ 内 容 今年、国宝・重要文化財に指定された琵琶湖疏水について、疏水事業に深くかかわった北垣国道や田辺朔郎の実績やエピソードを交えて紹介した。
また、当館で所蔵する『琵琶湖疏水工事写真帖』『琵琶湖疏水図誌』『琵琶湖疏水地図』などについて、図版と共に資料の特徴や来歴について紹介した。
最後に、小学校の琵琶湖疏水学習をサポートする琵琶湖疏水アカデミーの紹介をし、未来に伝えることの大切さにも触れた。

■ 参加いただいた方々のご意見 （参加者アンケートより）

- ・疏水にまつわるいろんな話が聞けて良かった。ひとつの断面から歴史が見えてきました。
- ・疏水と関わった人物の紹介をバランスよく話していただけて良かった。
- ・北垣知事と母のエピソードなど、関わりのあった人々の心にまで話が及んで、あったかい講演でした。
- ・資料がわかりやすく作られており、理解しやすかった。

（講座の様子）

